

[ 12月 外来医師一覧表 ]

新/新規患者 再/再来患者

| 診療科    | 新/再      | 月            | 火             | 水            | 木            | 金            |              |
|--------|----------|--------------|---------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 内科     | 一般内科初診   | 新            | 東方利徳          | 窪田美幸         | 三輪一博         | 米田太郎         | 又野豊          |
|        | 消化器内科    | 新/再          | 北恵太<br>三輪一博   | 伊藤鍊磨<br>又野豊  | 三輪一博<br>北恵太  | 又野豊<br>三輪一博  | 又野豊<br>伊藤鍊磨  |
|        | 呼吸器内科    | 新/再          | 佐伯啓吾          | 米田太郎<br>谷まゆ子 | 佐伯啓吾<br>中積広貴 | 米田太郎<br>谷まゆ子 | 中積広貴         |
|        | 循環器内科    | 新/再          | 東方利徳<br>森田まゆみ | 油尾亨<br>上谷祐介  | 東方利徳<br>常山悠  | 油尾亨<br>森田まゆみ | 東方利徳<br>常山悠  |
|        | 腎臓内科     | 新/再          | 谷悠紀子          | 干場涼平         | 谷悠紀子         | 北口耀子         | 干場涼平         |
|        | 内分泌糖尿病   | 新/再<br>再     | 鑑高彩夏<br>窪田美幸  | 窪田美幸<br>鑑高彩夏 | 鑑高彩夏<br>窪田美幸 | 鑑高彩夏<br>窪田美幸 | 窪田美幸<br>鑑高彩夏 |
|        | 脳神経内科    | 新/再          | 疋島(大学)        | —            | —            | 南川(大学)       | —            |
|        | 血液内科     | 新/再          | 井美(大学)        | —            | 近川由衣         | 青木剛          | 青木剛          |
|        | 心臓血管外来   | 新/再          | —             | —            | —            | 金大心臓血管       | —            |
| 外科     | 一般外科     | 新/再<br>再     | 望月慶子<br>西野拓磨  | 塚山正市<br>竹本法弘 | 竹本法弘         | 西野拓磨<br>塚山正市 | 望月慶子         |
|        | 呼吸器外科    | 新/再          | —             | —            | 懸川誠一         | 懸川誠一         | —            |
|        | 乳腺外科     | 新/再          | 佐藤礼子          | —            | 佐藤礼子         | —            | 佐藤礼子         |
| 緩和ケア外来 | 新/再      | 北川潤          | 北川潤           | —            | —            | 北川潤          |              |
| 産婦人科   | 新/再      | 岡康子<br>中出恭平  | 中出恭平<br>中島瑞季  | 岡康子<br>中島瑞季  | 中出恭平<br>岡康子  | 岡康子<br>中島瑞季  |              |
| 脳神経外科  | 新/再      | 大学           | 吉田優也          | 新多寿          | 吉識賢志         | 吉田優也<br>吉識賢志 |              |
| 整形外科   | 新/再      | 畑雅彦<br>中西宏之  | 中西宏之<br>中西章   | 交代制          | 畑雅彦<br>中西章   | 畑雅彦<br>中西宏之  |              |
| 耳鼻咽喉科  | 新/再      | 西郡聡<br>中島正志  | 西郡聡<br>中島正志   | 西郡聡<br>中島正志  | 西郡聡<br>中島正志  | 西郡聡<br>中島正志  |              |
| 形成外科   | 新/再<br>再 | 門平充弘<br>田中和  | 田中和<br>門平充弘   | 門平充弘<br>田中和  | 田中和<br>門平充弘  | 門平充弘<br>田中和  |              |
| 眼科     | 新/再      | 前田和彦         | 前田和彦          | 前田和彦         | 前田和彦         | 前田和彦         |              |
| 小児科    | 新/再<br>再 | 金田尚<br>正司政尚  | 大月幸<br>大月哲夫   | 大月哲夫<br>正司政尚 | 正司政尚<br>大月幸  | 大月幸<br>大月哲夫  |              |
| 精神科    | 新/再<br>再 | —<br>東郷・奥田   | 東郷泰平<br>栗森    | —<br>加藤雅     | —<br>東郷・廣澤   | 宮下<br>東郷泰平   |              |
| 泌尿器科   | 新/再<br>再 | 北川育秀<br>加藤浩章 | 大学<br>北川育秀    | 外島和樹<br>加藤浩章 | 北川育秀<br>大学   | 加藤浩章<br>外島和樹 |              |
| 皮膚科    | 新/再      | 小林忠弘         | 小林忠弘          | 小林忠弘         | 小林忠弘         | 小林忠弘         |              |
| 歯科口腔外科 | 新/再<br>再 | 宮澤広樹<br>松本成雄 | 松本成雄<br>宮澤広樹  | 宮澤広樹<br>松本成雄 | 松本成雄<br>宮澤広樹 | 宮澤広樹<br>松本成雄 |              |

※担当医師は月により変更することがあります。ご了承ください。

トキメキ  
スプリーム

小松市民病院 連携広報誌

Toki-Meki

Vol. 04

2023. December

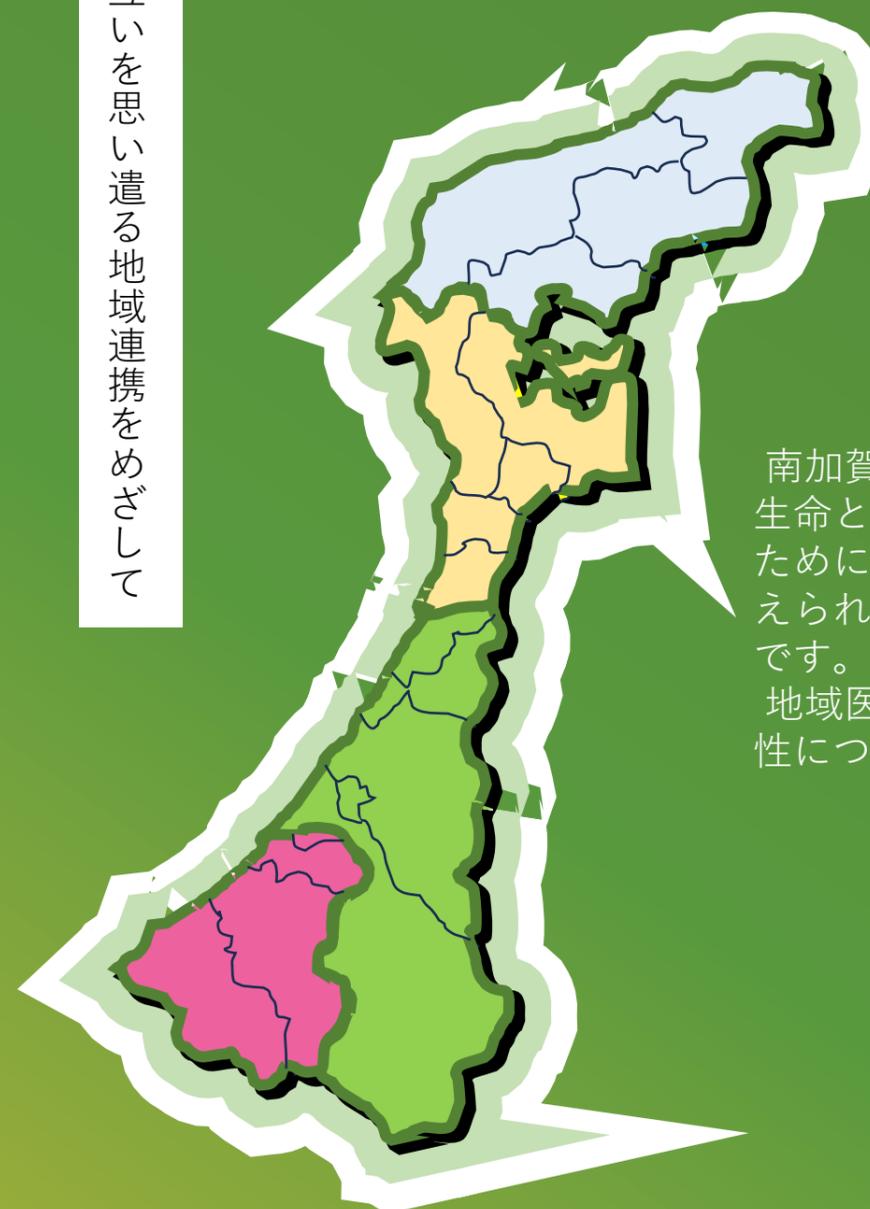
# SUPREME

ときめきに従い、至高を追求する

Today's keyword

## 地域医療構想

お互いを思い遣る地域連携をめざして



南加賀医療圏において、地域住民の生命と健康、そして安心な生活を守るためには、お互いの連携を強化し、与えられた役割を全うすることが不可欠です。地域医療構想と当院が歩むべき方向性について考察してみました。



国民健康保険  
小松市民病院  
Komatsu Municipal Hospital

連携・患者紹介に関しまして、ご不明な点などございましたら、地域医療支援室までご連絡ください。  
TEL: 0761-22-7111 FAX: 0761-21-7155 石川県小松市向本折町ホ60

Instagram

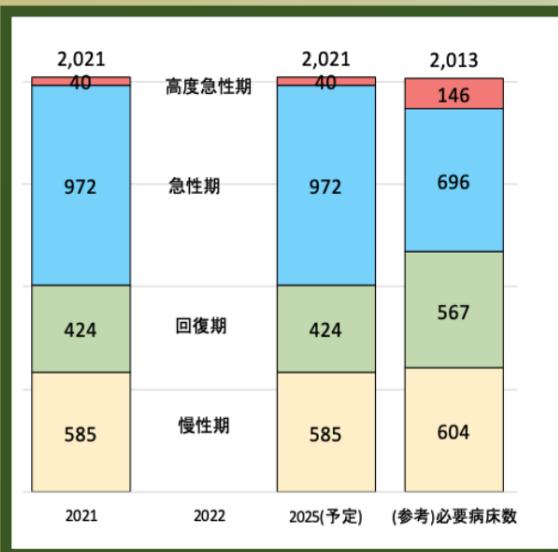


# 『地域医療構想と当院の今後について』



**南加賀医療圏**における将来の人口推移をみますと、全体的な人口が減少する中で、**65歳以上の高齢者数**は横ばいで推移し、**65歳以下の人口**が減少し続けることが予測されています(左上図)。この減少率は**3分の2**にも上り、これに伴い働き手が減少することが懸念されます。

県の協力を得て、**地域医療構想**が策定されています。この構想は、将来の人口動態と疾患パターンを考慮し、現行の医療機関の能力と役割を基盤として、病床の機能とその将来的な変化について検討を行っています。南加賀医療圏の病床数の推移は、左下図のように推測され、将来的には回復期や慢性期病床の増設が求められる一方で、急性期病床は減少する方向性が示唆されています。しかしながら、当院が注視すべき点は、最上段に位置する**高度急性期病床**の増加にあります。

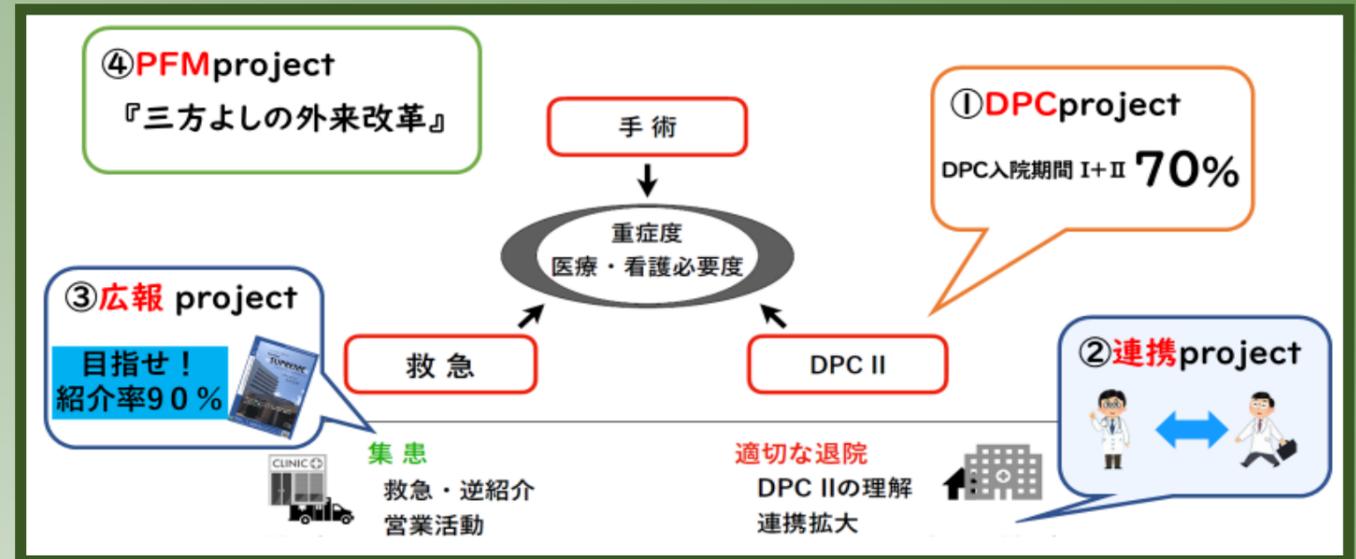


県は**高度急性期**を、心筋梗塞や脳卒中などの重症急性期に加えて、悪性腫瘍や難病などの**高度専門医療**も含めて検討しており、その後に軽症中等症急性期、ポストアキュート、回復期リハビリテーション、長期療養といった区分けが行われています。各疾患のイメージにつきましては、右図をご参照ください。

南加賀医療圏において当院が担うべきポジションは、高度急性期であることは明らかですが、当院は回復期リハビリテーション病床や地域包括ケア病床を有していません。今後は**純粋な急性期病院**としての在り方をどのように進化させるべきか、という問いがあります。



今年度、当院では「**HOSPITAL PROJECT 2023**」と銘打ち、複数のプロジェクトを同時に展開しています。**①DPCプロジェクト** (診断群分類包括評価 (DPC) システムを理解して入院患者により多くのサービスを提供する)、**②連携プロジェクト** (円滑で効果的な後方連携と情報共有)、**③広報プロジェクト** (当院の魅力を発信し集患力を高める前方連携)、**④PFMプロジェクト** (標準化、効率化、集約化による外来改革。少ない労働力への対応とDX化)がその一環です。これらのプロジェクトは、一見すると収益追求主義と見られがちですが、その目指すところは**10年後の南加賀医療圏における急性期医療の安定**です。全てのプロジェクトが連動し合うことで、当院の将来に向けた成長が達成されるものと考えます。



実際のところ、急性期病院の運営は難しいものです。急性期病院に財政的な大きな成果を期待することはできません。急性期病院の運営には**多額の費用**がかかります。高価な医療機器、例えば今年度は手術支援ロボットのダヴィンチ Xiが導入されましたし、近年では強度変調放射線治療装置IMRTの更新がありました。人件費や設備維持費、光熱費にも膨大な支出がかかります。

そして、24時間体制での高度医療の提供には、適切かつ十分な**人材確保**と院内外での**教育活動**も不可欠です。将来の労働人口の減少を踏まえ、当院は職員一人ひとりが仕事に対してやりがいを感じ、プロフェッショナルとしての成長を実感できる環境づくりを大切にしています。この目的のために、私たちの職務の重要性と使命感を共有し、積極的に内外に伝える取り組みを進めていきます。



私たち職員が一丸となり、急性期医療に貢献していくためには、さらなる外枠として、地域全体が一丸となり南加賀全体の医療を支える体制を構築することが不可欠です。これこそが地域医療構想の最終目標ではないでしょうか。

これまで支えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。今後とも何卒ご支援賜りますようお願い申し上げます。